
THROTTLE CONTROLLER

Performance & Technology



INSTALLATION MANUAL

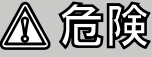


BLITZ.AG

－ 安全上のご注意 －

製品を安全にご使用いただくために『安全上のご注意』を良くお読みになってください。

表示項目の説明（シグナルワードとその意味！）

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

□必ずお読みになり、よくご理解ください。

- ・本製品は純正の電子制御スロットルの信号を制御し実際に運転者がアクセルを踏み込んだ以上にスロットルを開ける事で体感的なパワーやスタートダッシュの軽快感などが得られますが実際の最大出力が向上するものではありません。また、体感的な部分には個人差がありますことをご了承ください。
- ・この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。
--	--

- ・換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付け
ないでください。
運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- ・本製品は、車両電源がDC 12V車で車体（ボディ）アースの車両専用です。
DC 24V又は12V・24V兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。
- ・コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。また、製品の故障の原因となります。
- ・本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社
までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。
事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- ・本製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行ってください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

- ・ **本製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。**
取り付けには専門の知識と技術が必要です。間違った装着や使用方法により車輛装備品及びエンジン破損につながる恐れがあります。
- ・ **本製品は精密部品です。装着前に落下させたり装着時に無理な力を加えないでください。**
作動不良を起こし、車輛を破損する恐れがあります。
- ・ **本製品を長時間高温になる場所に放置しないでください。**
60℃以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では内部回路が破壊される事があります。
- ・ **本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。**
事故・火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外にさせていただきます。
- ・ **高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。**
感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ **エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。**
エンジン本体、ラジエーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ **定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。**
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちる事があります。
- ・ **取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。**
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ **ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。**
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
- ・ **本製品は純正車両を前提に企画されております。**
純正以外のパーツを取り付けている場合は、本製品が正常に作動しなかったり、本製品および車両に不具合が発生する可能性があります。



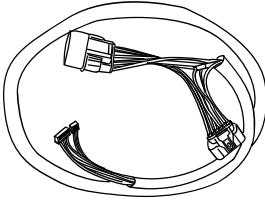
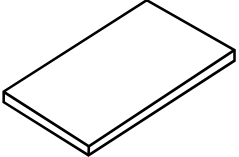
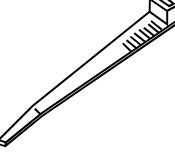
警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・ **運転者は走行中における本製品の操作はしないでください。**
運転中の表示の注視やスイッチ操作は事故に繋がる可能性があるため大変危険です。
- ・ **コントローラーや本体の装着場所は運転の妨げにならない場所へ、しっかりと固定してください。**
アクセルセンサー付近の配線処理などは注意を怠りますと、突然のエンジン不調やアクセル操作の邪魔になるなど大変危険です。
- ・ **本製品は純正電子スロットルの制御を目的に製作されていますので配線の接続方法ならびに使用方法を間違えると車両側の不調・破損・事故など致命的な問題が発生する恐れがあります。**
接続取り付けに関しては必ず専門の業者に任せて行うようにお願いします。ご自身で取り付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、慎重に作業をしてください。
- ・ **走行中に車輛及び製品より異音・振動・異臭等の異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して専門業者にて点検・整備を行ってください。**
修理等に関してはお客様ご自身で対処すると、怪我などの恐れがあり大変危険です。必ずプロの知識を持った専門業者へ依頼をしてください。
- ・ **本製品の装着により製品、及び車輛本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。**
そのままの状態で行くと、予期せぬトラブルを誘発するばかりではなく、事故を招く可能性があります。
- ・ **本製品の分解や改造は一切行わないでください。**
車両破損・事故につながるだけでなく生命の危機に陥る恐れもあり危険です。また、そのような場合でも弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。

パーツリスト

(製品装着前に必ずご確認ください)

							
コントローラー	1	本体ユニット	1	センサー・ピンクハーネス	各 1	スプライス	1
							
本体ユニット用両面テープ	2	タイラップ	4	取扱説明書・保証書	各 1		

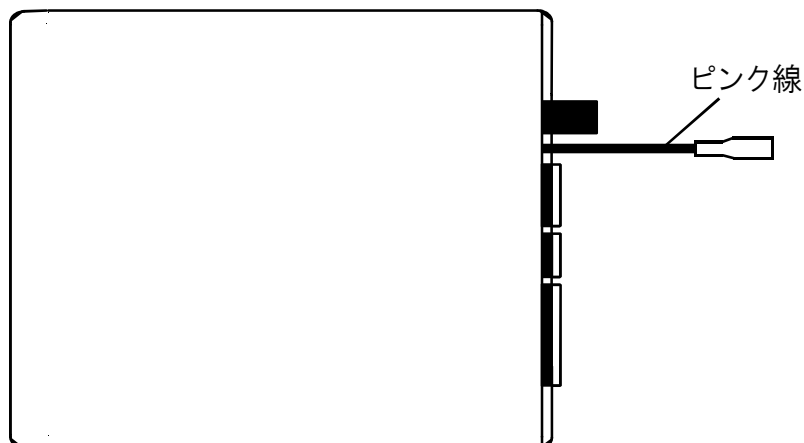
ー 各部の名称と機能 ー

コントローラー：

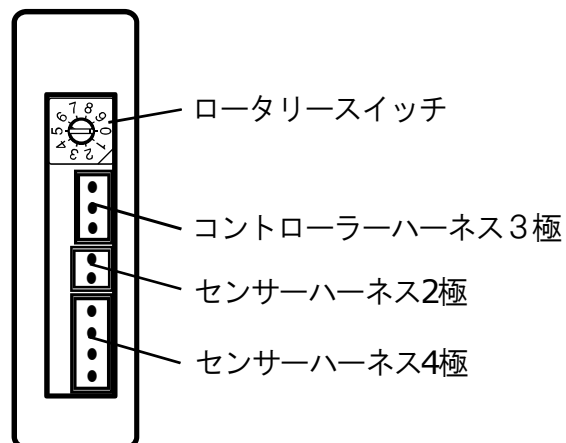


POWERボタン

本体ユニット：



ピンク線



ロータリースイッチ

コントローラーハーネス3極

センサーハーネス2極

センサーハーネス4極

－ 取り付け手順と方法 －

■取り付け上のご注意

※本製品はDC 12V車両専用です。DC 24V車や12V仕様車以外の車両には取り付けを行わないでください。火災や車両破損の原因となり大変危険です。

※アクセルコネクターの取り外し作業はイグニッションキーをOFFしてから15分以上経過してから行ってください。

※従来品の専用センサーハーネスは仕様が異なる場合がありますので、必ず同梱されている物をご使用ください。

※電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には十分注意し慎重に作業をおこなってください。

※接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、エンジンチェック点灯等の状況が出てしまいます。

この場合専用機器しかエンジンチェックの点灯を消せないことがあります。十分注意して作業をおこなってください。

※スマートエントリーシステムなどの場合はキーを認識しない場所に離して作業してください。

車両側がキーの存在を認識して自動的に電源が入り、そのまま作業をしてセンサーコネクタを抜くと車両故障とみなされエラー信号が入り、エンジンがフェールセーフモードに入ってしまう恐れがあります。

※車両によっては専用の故障診断機を使用しなければエラーコードが解除されない場合がありますので十分注意してください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

- ・取り付け作業は基本的にバッテリーを外さずに行ってください。バッテリーを外した場合にアイドリング学習などが必要になる場合があります。
- ・本作業は精密電子部品である電子制御スロットルの制御にかかわる部分です。接続位置や接触、逆挿し、接触不良等には十分注意し慎重に行ってください。
- ・接触不良や間違った接続をした場合、正常にエンジンが吹け上がらない、エンジンチェックランプの点灯などの症状が発生します。この場合も前述同様専用の故障診断機を使用しなければ消灯させることができない場合がありますので十分注意し、よく理解した上で作業を行ってください。

(1) 運転席足元アクセルポジションセンサー位置

アクセルポジションセンサーは**通常アクセルペダルの根元付近**にあります。(一部車種除く)
カバーの裏などで隠れていて直接目視できない場合がありますので注意して探してください。



図 1



図 2

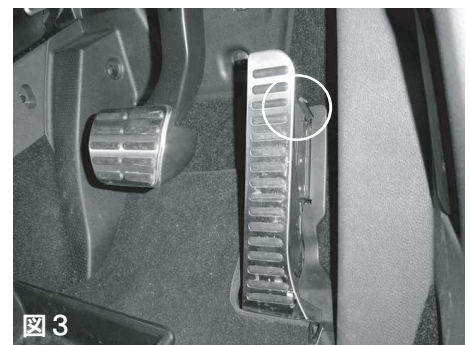


図 3



図 4

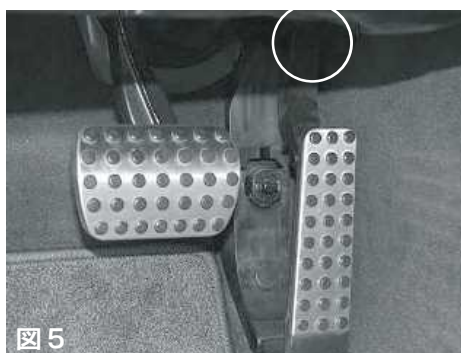


図 5

- 図 1 : BMW MINI MF16S
- 図 2 : BMW MINI RE16
- 図 3 : VW Golf V
- 図 4 : BMW 135i
- 図 5 : Mercedes SLK350

※同梱のハーネスに付いているコネクターの形状と見比べて違う場合は装着できません。
形状が異なっている場合は無理に装着しないでください。

(2) アクセルセンサーコネクタ取り外し

- ・アクセルペダルを取り外します。
- ・コネクタのつまみを押しながら、取り外します。

※アクセルペダルを取り外さないで、コネクタが外れない場合もあります。

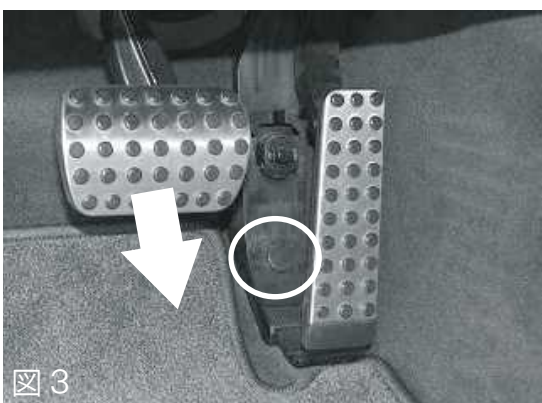
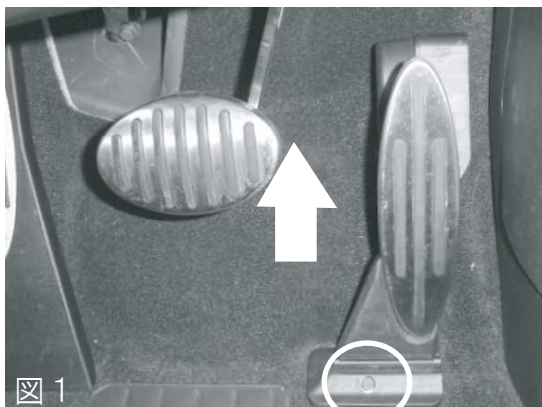
破損の原因になりますので、無理に外そうとしないでください。

※初めてコネクタを脱着する場合、非常に固く外れない場合があります。ドライヤーなどで適度に温めてやわらかくしてから外してください。

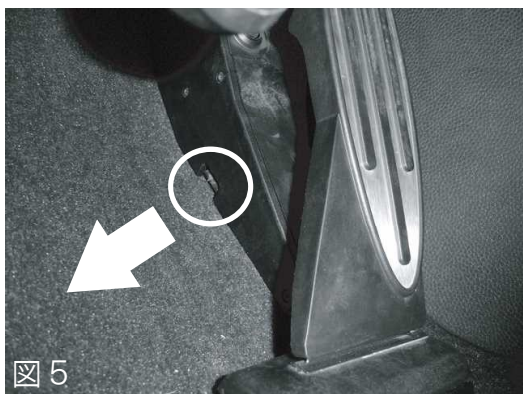
工具などで無理に外そうとすると破損する恐れがありますのでお止めください。

〈例〉アクセルペダルの外し方

- ・白丸部の丸いカバーを取り外し、ボルト・ナットを取り外します。(図1～図4参照)
- ・アクセルペダルを矢印方向に動かすと、ペダルが取り外せます。(図1、図3参照)



- ・図5 白丸部のアクセルペダル側面のツメをードライバで床方向に押しながら、アクセルペダルを矢印方向に押してください。(図5参照)
- ・矢印方向にある程度動いたら、再度、図5のツメを床方向に押しながら、アクセルペダルを矢印方向に動かすとペダルが取り外せます。(図6参照)



※ードライバで押す際は先端をテープや布などで包み、車両側に傷がつかない様に注意してください。

図1、図2 : BMW MINI MF16S/BMW 135i

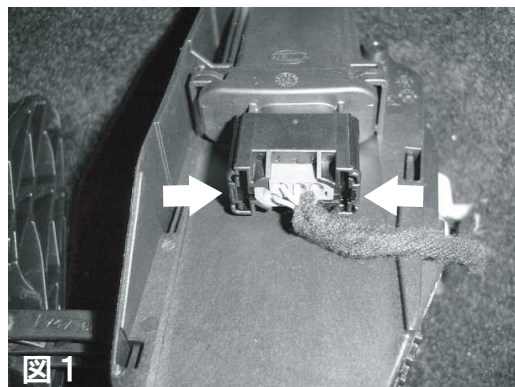
図3、図4 : Mercedes SLK350

図5、図6 : BMW MINI RE16

〈例〉コネクタの外し方

: B M W / M I N I / M e r c e d e s

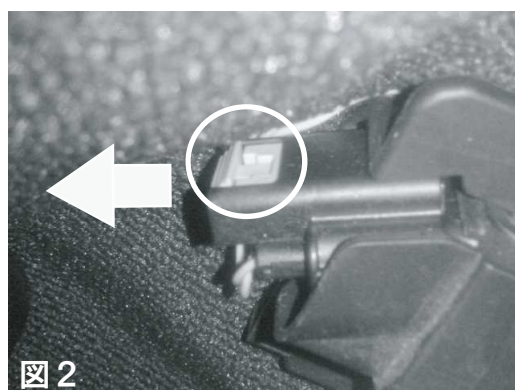
- ・ ツメを内側に押しながら、引き抜きます。（図1 参照）



: A u d i

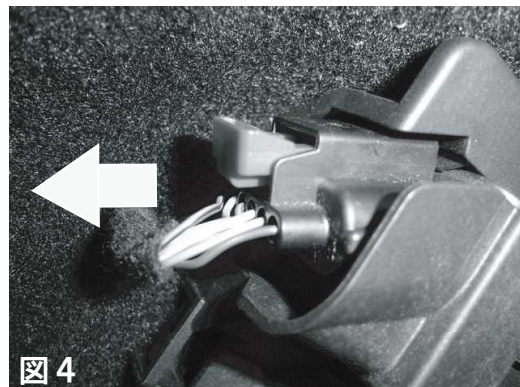
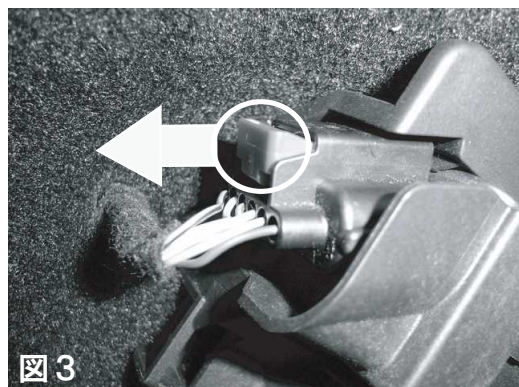
- ・ 車両に付いているコネクタの白丸部の灰色のツメを、車両下側に押しながら矢印方向に引き抜きます。（図2 参照）

※ツメをしっかり押し切らないとコネクタのロックが外れませんので注意してください。



: V W G o l f

- ・ 車両に付いているコネクタの赤色のツメを矢印方向に引っ張ってください。（図3 参照）
- ・ 赤色のツメが図4のように出ている事を確認し、矢印方向に引き抜いてください。（図4 参照）



- 図1 : BMW MINI MF16S/BMW MINI RE16/BMW 135i
図2 : Audi等
図3、図4 : VW Golf GTI

(3) 専用センサコネクタ取り付け

センサー側、車両側、それぞれコネクタを装着してください。

〈例〉コネクタの接続

- ・コーションステッカーが貼ってある面と車両側コネクタ接続部の番号 1、2、3 の方向を合わせて装着してください。（図 1 参照）
- ・装着後必ずビニールテープ等で固定してください。（図 2、図 4 参照）

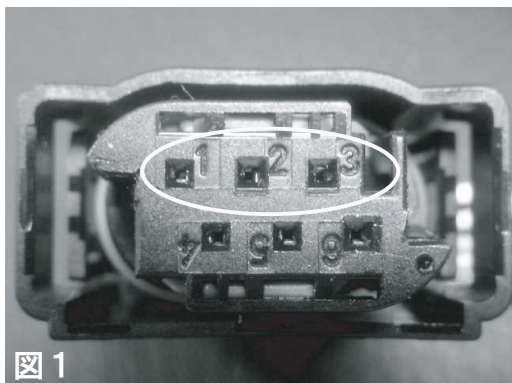


図 1

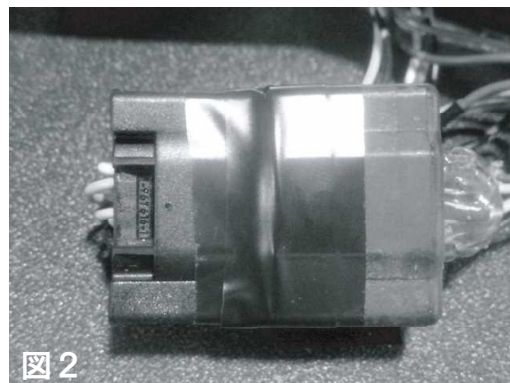


図 2

- ・コーションステッカーが貼ってある面と車両側コネクタのロック部分（ツメ）を合わせて装着してください。（図 3 参照）



図 3

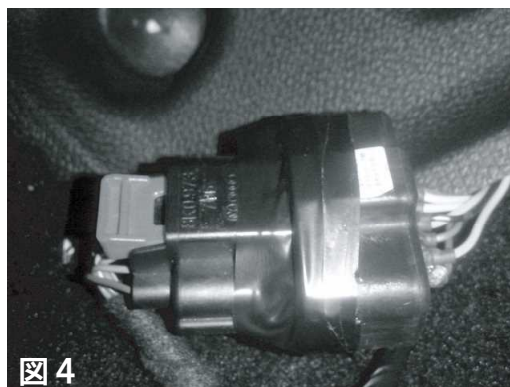
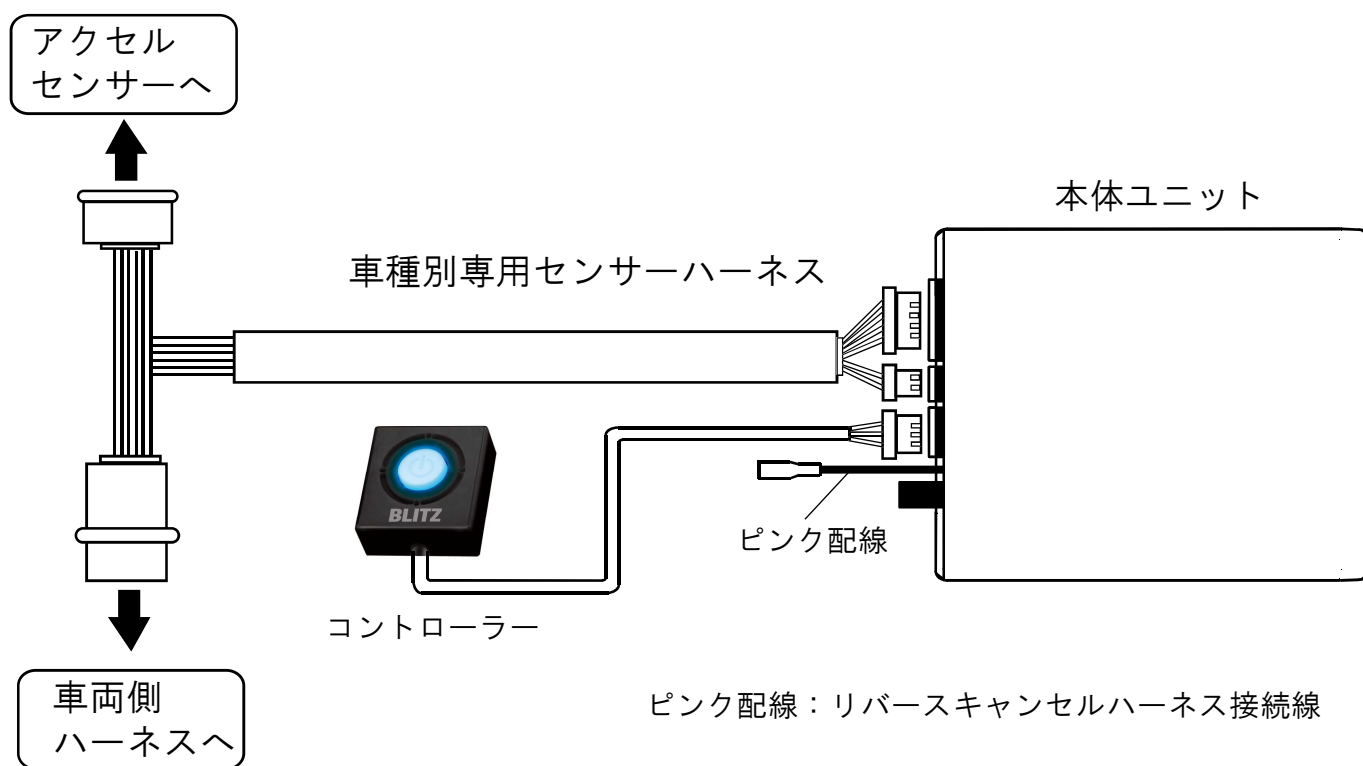


図 4

※コネクタの表裏を間違えて装着するとセンサー破損や本体ユニット破損、エンジンチェックランプ点灯など様々な不具合が起こる恐れがあります。
間違いの無いように作業を行ってください。

(4) 本体ユニット、コントローラーの装着

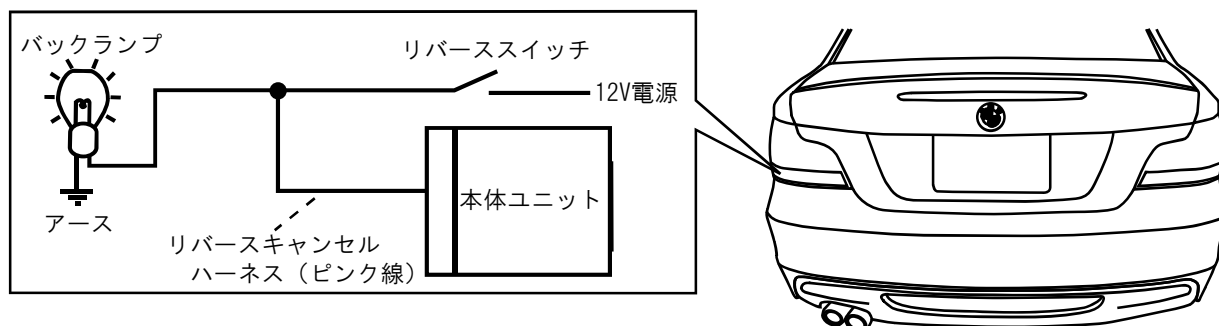
【接続図】



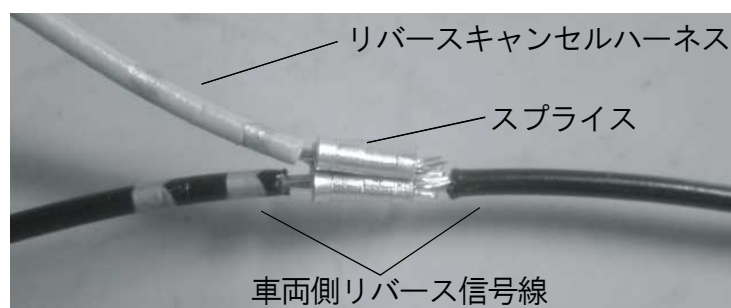
- ①専用ハーネスの2極と4極コネクタを本体ユニットへ確実に差し込んでください。
- ②コントローラーからの3極コネクタを本体ユニットに確実に差し込んでください。
- ③本体ユニットより出ているピンク配線はリバースキャンセル、及びON/OFFスタート設定用の配線です。
後述の[リバースキャンセルハーネスの接続]を参考に結線してください。
- ④運転の操作の妨げにならぬよう、本体ユニットを固定し配線をまとめてください。
*本体は水、熱のかからない場所に固定してください。
*作動確認用のブザーが本体ユニット内に装備されていますので、なるべく運転者に近い場所に固定してください。

(5) リバースキャンセルハーネスの接続

- ・リバースキャンセルハーネスのオスギボシを本体ユニットのピンク線に接続します。
- ・車両の整備書などで、ギヤをバックに入れた際に+12Vを出力する線に、リバースキャンセルハーネスの片側を同梱しているスプライスを使用し、下図を参考に接続してください。



- ・スプライスは下図の様に接続し、圧着ペンチなどでしっかりとカシメてください。
- ・カシメた後は、金属部分が剥き出しになっている為、ビニールテープ等の絶縁出来るものでしっかりと絶縁してください。

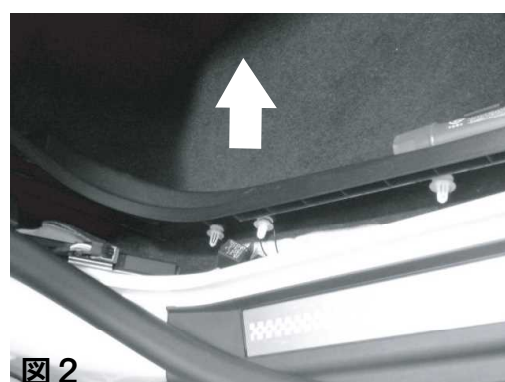


- ※カシメたリバースキャンセルハーネスを軽く引っ張り、しっかりとカシメられているか確認してください。
- ※金属部分を絶縁しない場合、車体側アース部分とショートしてしまい、バックランプ等の破損の原因となりますので注意してください。
- ※接続が終わった後は、リバース時に+12V流れるか、テスターなどで必ず確認してください。

〈例〉リバースキャンセルハーネスの接続箇所

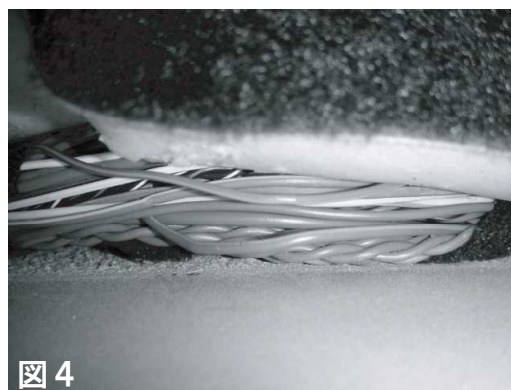
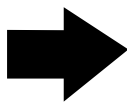
[BMW MINI MF16S 右ハンドル]

- ・助手席側下部のスカッフプレート横の内装ゴムカバーを図の様に引っ張りながら外してください。(図1参照)
- ・内装を矢印方向に引っ張りながら外してください。(図2参照)



- ※内装はクリップでとまっている為、無理に引っ張りツメを壊さないように注意してください。

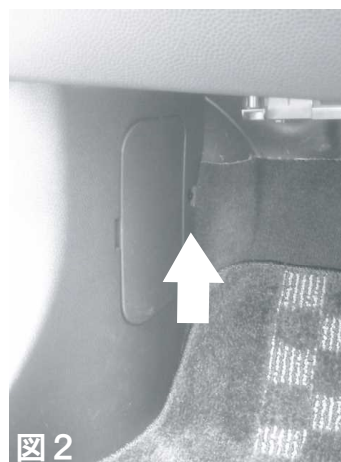
- ・ 図3の白丸部の配線の水色/灰色線に接続してください。



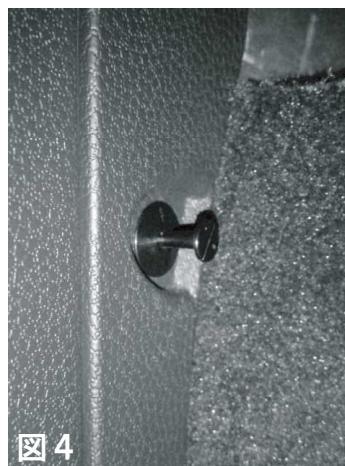
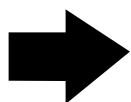
※水色/灰色線は数本ある為、水色、灰色、それぞれ二色入っている一番太い線に繋げてください。
 ※確認のため、リバース時に+12V流れるかテスターなどで確認してください。

〔BMW MINI RE16 右ハンドル〕

- ・ 助手席側下部のスカッフプレート横の内装ゴムカバーを図の様に引っ張りながら外してください。（図1参照）
- ・ ヒューズボックス奥のクリップを外してください。（図2参照）

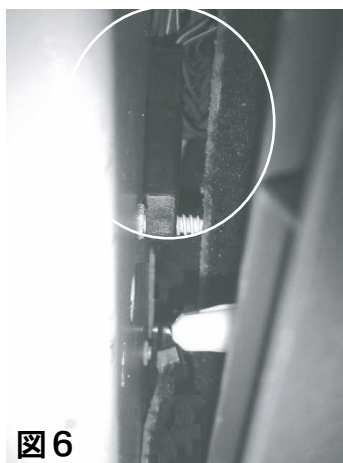
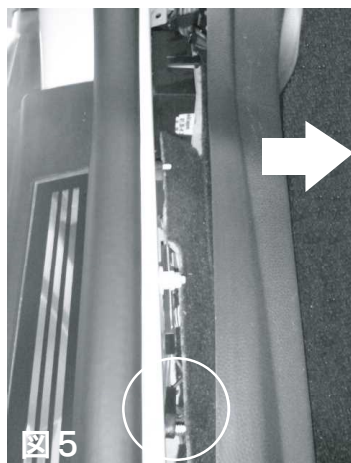


- ・ クリップの頭部を引っ張り、図3から図4の状態にし、クリップを取り外してください。



※クリップの頭部を引っ張らない状態のまま無理に外そうとすると、クリップのツメが割れてしまう恐れがあるので注意してください。

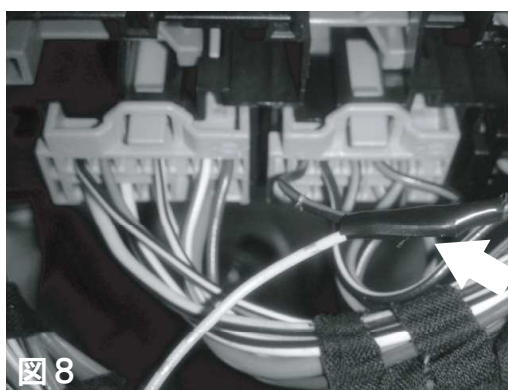
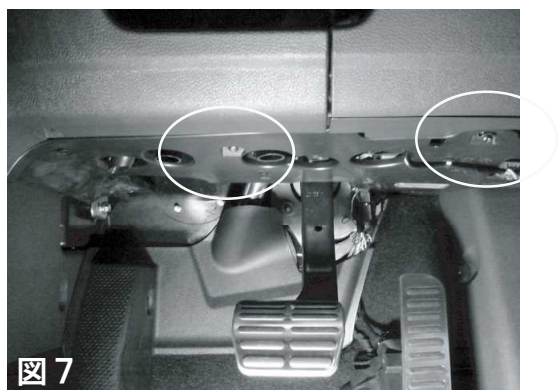
- ・内装を矢印方向に引っ張りながら外してください。（図5参照）
- ・コネクタが三本ありますので、一番下の白丸部コネクタに繋がっている水色/黄色線に接続してください。



※内装はクリップでとまっている為、無理に引っ張りツメを壊さないように注意してください。
 ※確認のため、リバース時に+12V流れるかテスターなどで確認してください。

〔VW Golf GTI 右ハンドル〕

- ・運転席下部のカバーを外してください。（図7の白丸部分にボルトが付いています）
- ・右側茶色コネクタの左上部にある矢印の黒/青線に接続してください。（図8参照）



※確認のため、リバース時に+12V流れるかテスターなどで確認してください。

(6) 初期設定／初めて車両に装着、もしくは装着車両を変更する場合

注意！ 作業終了後、下記要領にて本製品を使用する前に必ず初期設定を行ってください。
初期設定を行わない状態で本製品を使用した場合、車両ECUがエラー認識をしてしまう場合があります。
正確な操作にて必ず初期設定を行ってください。

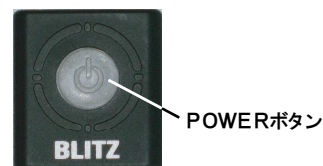
注意！ 初期設定は絶対にエンジンを始動させていない状態で行ってください。

注意！ 初期設定がきちんと認識されない場合は、エラー音とともにLEDが【点滅】を繰り返します。
この状態の場合は初期設定を再度行ってください。

注意！ アクセルペダルと配線、本体ユニット等が接触する状態は大変危険です。
配線等は必ず操作の妨げにならない場所に、しっかりとまとめて固定してください。

注意！ エンジン停止後15分以上経過してから作業を開始してください。
エンジンチェック点灯の原因となる場合があります。

- ① POWERボタンを押し続けた状態でIGキーをONにしてください。
*必ず本体を取り付けた直後に行ってください。
- ② そのままPOWERボタンを押し続ける(5秒以上)と、初期設定モードになります。
*POWERボタンのLEDが【点灯】から【点滅】に変わります。
- ③ 15秒以内にアクセル操作で、アクセル全閉と全開を連続で2回以上繰り返してください。
*この操作で、アクセル信号の0～100%の電圧値が入力されます。
*アクセルペダルを踏み損じた可能性のある場合は、エラー音とともにLEDが【点灯】ではなく【点滅】を繰り返します。この場合②、③の操作をやり直してください。
*キックダウンスイッチ装備車は、踏み込んで止まったところから、もう一段奥まで確実に踏み込んでください。
- ④ 15秒間の初期設定モードが正常に終わると、LEDが【点滅】から【点灯】になります。



※【Mercedesへの装着、及び下記症状が発生した場合】

本製品をMercedesへ装着する場合と、上記の通常装着を行って次のような症状が発生した場合は、下記要領により初期設定をやり直してください。

[症状] : アイドリング時のエンジンハンチング
: POWERをONにただけでアイドリング回転が上がる
: 高速走行中にアクセルOFFした時に最大ギヤまでシフトUPしない
: エンジンチェックランプ点灯

[上記の場合におこなう初期設定]

※これは停車時に、エンジン始動状態で初期設定をおこなう方法です。
走行中の設定は絶対におこなわないでください。

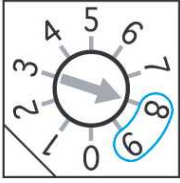
- ① エンジンを始動させ、十分に暖気させてください。(エアコン、オーディオ類はOFFにしてください)
- ② POWERボタンを5秒以上押してください。初期設定モードになります。
*この時にPOWERボタンのLEDが【点灯】から【点滅】に変わります。
- ③ 初期設定開始から15秒以内にエンジンがかかっている状態で、アクセル全閉の状態と、全開の状態を1回ずつおこない本製品にアクセル開度を認識させてください。
*アクセルを全開にした場合はエンジン回転が一気に上昇します。全開状態を長く続けるとエンジンの負担となりますので全開状態はできるだけ短時間でおこなってください。
本製品は全開状態が一瞬でも認識するように設計されています。
- ④ 15秒間の初期設定モードが終わると、LEDが【点滅】から【点灯】になります。

(7) 各種モード説明

モードの切り替えは本体ユニット側面のロータリースイッチで行います。

「AUTO」モード

(2モード)



* 走行状態により7段階の比率を、マイコン制御により自動的に選択します。

渋滞時から高速走行時まで、さまざまなシチュエーションにおいて常に最適なモードを、この「THROTTLE CONTROLLER FULL AUTO LIGHT」が自動判別し快適な制御を行います。

他のモードからAUTOモードに変更した場合は、その時点での最適な状態からスタートとなります。

ダイヤル【8】

「MAP 1」が低比率。加速するにつれてアクセルが一定でも徐々に加速していきます。

低速時や後退時の急激な挙動を抑え、いちいち切り替える必要もなく、快適でスムーズなドライブが可能です。

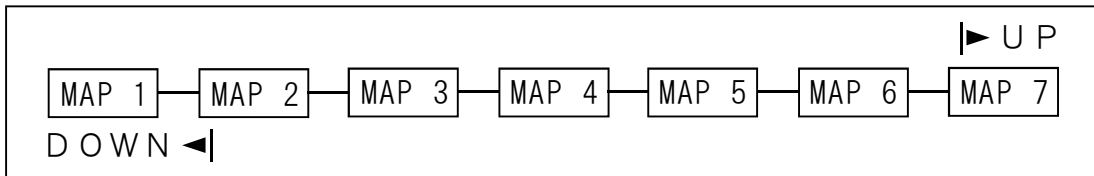
ダイヤル【9】

「MAP 1」が高比率。加速するにつれてアクセルが一定でも徐々に比率がダウンしていきます。

車速が乗った状態や、あまりパワーを必要としない領域での無駄なアクセル操作を抑制することで燃費の向上も望めます。

比較的にパワーのある大排気量車に最適です。

・オートモードイメージ



※AUTOモード中はスロットル開度をマイコンで判別しているため、アクセル操作により常時段階が変化します。
この時にコントローラーのLEDが点滅しますので、段階が変化した時の目安になります。

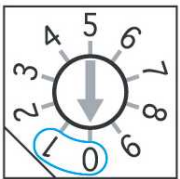
・比率DOWN方向 ⇒ 2回点滅

・比率UP方向 ⇒ 1回点滅

※AUTOモードの状態でエンジンをかけた場合は、「MAP 3」からスタートとなります。

「ECO」モード

(2モード)



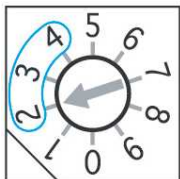
* 純正よりも緩やかな出力曲線を描く、燃費重視のセッティングです。

2モードでエコランを実現します。

ダイヤル【0】がAUTOモードを除く8モードの中で、もっともエコな低比率となります。

「MILD」モード

(3モード)



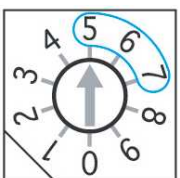
* 段つきのないスムーズな加速を目指した通常走行向きのノーマル+αのセッティングです。

3モードを用意し、きめ細かいコントロールが選択できます。

ダイヤル【2】が3モードの中で、もっとも低比率となります。

「SPORT」モード

(3モード)



* アクセルレスポンスの向上に特化した、もっとも過激なモードです。

純正のような緩慢な反応ではなく、入力に対してリニアな加速を実現します。

ダイヤル【7】がAUTOモードを除く8モードの中で、もっとも過激な高比率となります。

(7) 各種モード説明

◎リバースキャンセルモードについて

※リバースキャンセルハーネスを装着することにより、リバース時に本製品作動を自動的にキャンセルすることとスタート時のON/OFF設定の変更が可能となります。

リバース状態での困難な車庫入れ等の場合でも、自動的にノーマル制御となりますので、より便利で安全です。

◎ON/OFFスタート設定について

※本製品出荷時はセーフティー機能の一環として、使用中にIG-OFFにした場合、必ずノーマルモードになるように設定されています。例えばいずれかのモードで走行後、IG-OFFにした後に再度エンジンをかけた場合には、LEDは消灯状態でノーマルモード（純正状態）となっています。

これを任意で常時ロータリースイッチで設定したモードで起動させることができます。

※この設定を利用するにはリバースキャンセルハーネスの結線が必要です。

- ①リバースキャンセル用のピンク線を接続してください。
- ②IGキーをON状態で、リバースギヤにシフトしてください。（エンジンは始動しない状態で行ってください）
- ③上記の状態ではPOWERスイッチを5秒以上長押ししてください。
5秒後に『ピー』音と共にスタート時の機能が変更されます。
- ④もとのOFFスタートに戻す際は、②・③の作業を繰り返し行ってください。
この作業を繰り返す度にONスタート/OFFスタートの設定が変更になります。

※エンジンを停止後、15分間以内に再始動させた場合は、OFF設定にしている場合でもON状態よりスタートする車両が一部ありますが、これは車両の制御方式の違いによるもので異常ではありません。



ON/OFF設定は本製品概要をご理解いただいていないご本人以外の方が使用することは非常に危険です。
ご本人以外が運転する場合は必ずOFFスタートに設定してください。

(8) トラブルシューティング



フェールセーフモードに入りエンジンが吹け上がらない状態になった場合は非常に危険です。
速やかに車両を安全な場所に停車しエンジンを停止し5分ほど経ってから再度エンジンを始動させてください。

【アイドルリング不調】

※初期設定不良の可能性があります。初期設定を再度行ってください。

※取り付け作業時にバッテリーを外した場合はアイドルリング学習が必要な場合があります。

販売店もしくはカーディーラーへご相談願います。

【エンジンOFFでもしばらくLED表示が消えない】

※エンジンを切っても暫くはコントローラーのLED表示が消えない場合がありますが、センサーへ微量な電流が流れているためで異常ではありません。

15分以上表示が消灯しない場合はお手数ですが販売店もしくは弊社サポートセンターまでご連絡ください。

※一部車種ではドアロック解除などのアクションで、表示が点灯する場合がありますが異常ではありません。

【エンジンチェックランプ点灯、エンジン不調】

※コネクターの接触不良、配線間違い、コネクタ挿入方向の間違いなどご確認ください。

※エンジンルームにもアクセルセンサーと同形状のコネクタがあります。

エンジンルーム内のコネクタに接続した場合、正常に動作しません。車内のアクセルセンサーのコネクタへ接続してください。

※本製品を最初に装着する時、または装着車両を変更した時は必ず初期設定を行ってください。

この際にアクセルペダルを踏み損じた可能性のある場合は、エラー音とともにLEDが【点灯】ではなく【点滅】を繰り返します。

※万が一エンジン不調等の症状が出て、POWERスイッチをOFFにしても正常にならない場合は、アクセルセンサーのカブラー部分をノーマルに戻してください。

※本体及びハーネスへ、ノイズの発生する部品を近づけないで下さい。

(例. 無線機、オーディオアンプ、イグニッションコイル系部品、他)

【作業中のミスなどでエンジンチェックランプ点灯】

※キースイッチを抜いてから、完全に電源が切れる前に作業を行っている可能性があります。15分以上待つて作業してください。

※コネクタを逆挿ししている可能性がありますので再度ご確認ください。

※ディーラー等専用の故障診断機のある工場にてチェックランプ及びダイアグの履歴を消去してください。

※一部車種などではバッテリー端子を30秒以上外す事で、チェックランプを消す事ができる車両もあります。

※正常な状態で走行し、エンジンの停止を数回行うと自動的に消灯する場合がありますが、ダイアグの履歴は残っています。

(9) 走行する前に再度お読みください。

※A T車の場合には高速走行中にキックダウンしにくい、もしくはシフトポイントが変わる場合があります。
これはアクセルを踏んでない状況でも擬似的に踏んでいる状態をつくっているためです。

故障ではありませんのでご了承ください。

※ターボチャージャーなどの過給機付き車両の場合、ブースト特性が変わります。

特にブーストアップやタービンの変更などを行っている場合は、ブーストの再調整が必要になる場合があります。

※P O W E Rボタンの長押しは初期設定モードとなりますので、走行中には絶対にこの動作を行わないでください。

誤って操作してしまった場合でもセーフティ回路により走行は可能ですが、その際は安全な場所に車両を停車させ再度初期設定を行ってください。

※キーをO F FにしてもコントローラーのL E D表示がしばらく残る車両がありますが異常ではありません。

このL E D表示が残っている状態でイグニッションキーを再度O Nにした場合は、「O N/O F Fスタート設定」をO F FにしてもモードがO Nのままとなり、ロータリースイッチで設定されているモードでのスタートとなります。

■製品についてのお問い合わせ

連絡先	株式会社 ブリッツ サポートセンター
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6
T E L	0 4 2 2 - 6 0 - 2 2 7 7
F A X	0 4 2 2 - 6 0 - 0 0 6 6
U R L	http://www.blitz-ag.com

■発売元

発売元	株式会社 ブリッツ
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6
取扱説明書番号	1 4 9 0 0 0 6
初版作製年月日	2 0 1 0 年 2 月 1 2 日

この度はブリッツ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

B L I T Z 商品をお買い上げいただいたお客様からの情報を今後の製品開発などへフィードバックさせていただき弊社から商品に関する最新情報や、限定情報などをご案内させていただくための「カスタマー登録」が可能です。

B L I T Z A G W E B S I T Eよりオンライン上で簡単に登録が可能ですのでぜひご登録をお勧めいたします。

カスタマー登録をされていない場合、製品によっては保証期間内であっても保証規定内容が無効になる場合がございますのでご注意ください。

尚、製品に付属している「保証書」は、カスタマー登録の有無に関わらず、製品の検査・修理などのご依頼の際に必ず必要となります。

製品の取扱説明書と共に、大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

カスタマー登録後も、製品の保証につきましては、別途製品に付属する「保証書」が必要となりますのでご注意ください。

カスタマー登録のメリット

- モニター販売や最新の製品情報、バージョンアップのご案内を優先的にさせていただく予定です。
- 登録情報に基づいて、製品の各種保証やサポートをご利用いただけます。